



2020年3月期 第3四半期決算
(2019年4月1日～2019年12月31日)

補足説明資料

2020年1月31日 (金)

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)

2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

決算のポイント

① 連結売上が前年同期比で僅かに減収

- 前期に獲得した大型模案件の反動減
- Windows7のサポート期限（2020年1月）到来により、パソコン切替の需要が著しく増加し、販売代理店がパソコンの販売に注力している状況が当初の想定以上に続いた

② 「DigitalArts@Cloud」のラインアップ拡充・価格改定・新プラン設定

- 「DigitalArts@Cloud」のラインアップに「FinalCode@Cloud」「Chat@Cloud」を加え、セキュリティを意識させない『無菌室』化された世界を、クラウド運用でも実現
- 企業におけるセキュリティのクラウド運用のニーズの高まりを受け、価格改定および新プラン「i-FILTER@Cloud有害情報対策版」「m-FILTER@Cloud誤送信対策版」の設定
- 政府の掲げる「クラウドファースト」に伴う、企業や公共施設のクラウド化案件に幅広く対応

③ 「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの売上が拡大

- 企業向け市場において、働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外で利用する機会が増加

2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **4,141** 百万円 (前期比 $\Delta 25$ 百万円 / $\Delta 0.6\%$)

前期に獲得した大型案件の反動減およびWindows7のサポート期限切れに伴う販売代理店のパソコン販売への注力が続いている影響で僅かに減収

営業利益

営業利益： **1,648** 百万円 (前期比 $\Delta 26$ 百万円 / $\Delta 1.6\%$)

売上高の減収に伴う減益

経常利益

経常利益： **1,648** 百万円 (前期比 $\Delta 25$ 百万円 / $\Delta 1.5\%$)

営業利益の減益に伴う減益

親会社株主に帰属する
四半期純利益

四半期純利益： **1,128** 百万円 (前期比 $\Delta 289$ 百万円 / $\Delta 20.4\%$)

前期における米国子会社清算に伴う税金費用の抑制効果の反動により、純利益は減益

連結業績

(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	4,166	4,141	△0.6%	6,800
売上総利益	3,357	3,156	△6.0%	5,450
販売管理費	1,683	1,508	△10.4%	2,150
営業利益	1,674	1,648	△1.6%	3,300
経常利益	1,674	1,648	△1.5%	3,300
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,418	1,128	△20.4%	2,277
ROE	21.2%	14.1%	—	—

※ 「通期予想」は2019年5月9日公表の連結業績予想

個別（単体）業績

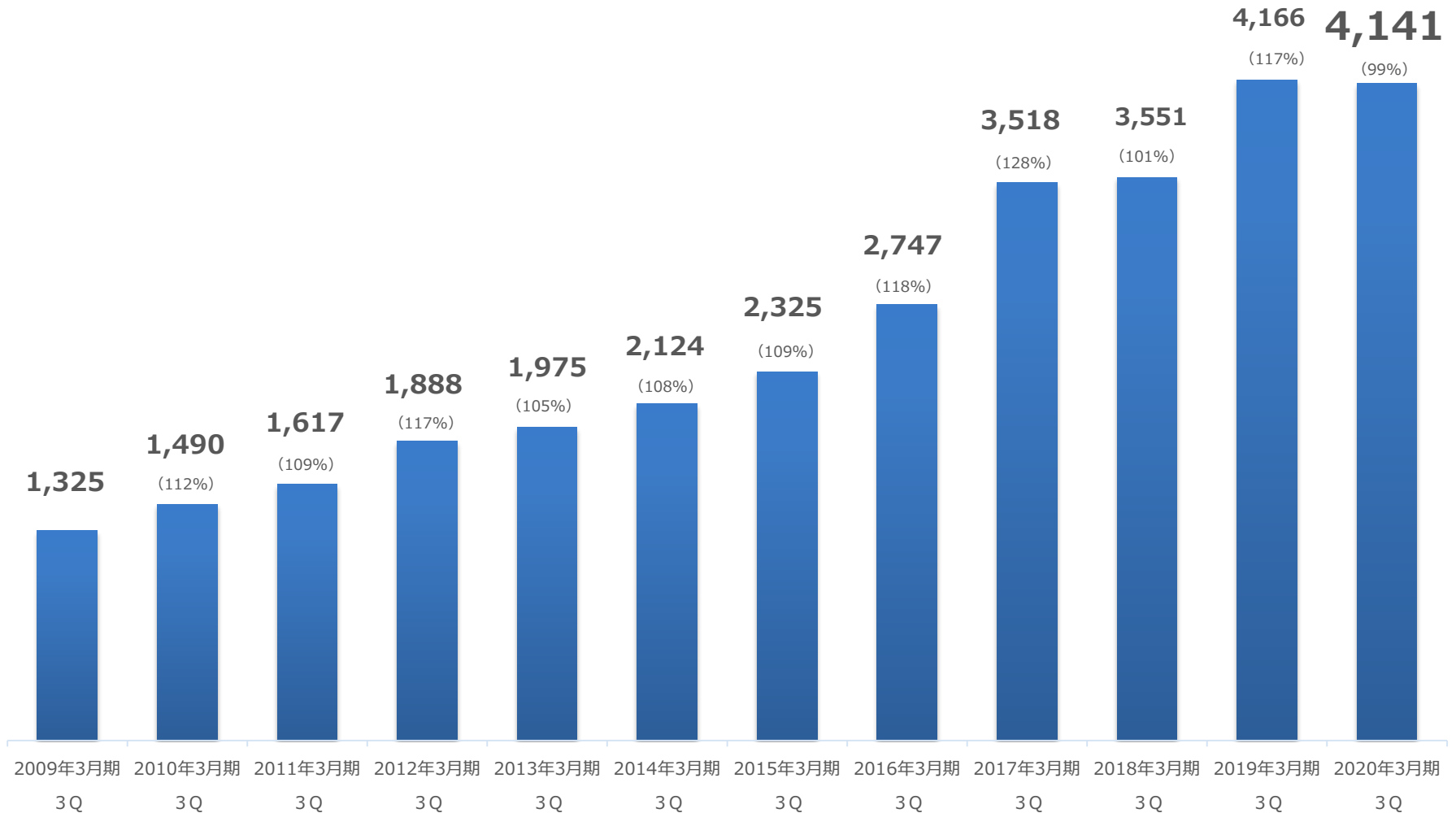
(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	4,127	3,990	△3.3%	6,600
売上総利益	3,342	3,129	△6.4%	5,400
販売管理費	1,507	1,445	△4.1%	2,100
営業利益	1,835	1,684	△8.2%	3,300
経常利益	1,837	1,687	△8.1%	3,300
四半期純利益	1,262	1,162	△7.9%	2,290
ROE	18.4%	14.5%	—	—

※ 「通期予想」は2019年5月9日公表の個別業績予想

対前年同期比で横ばい

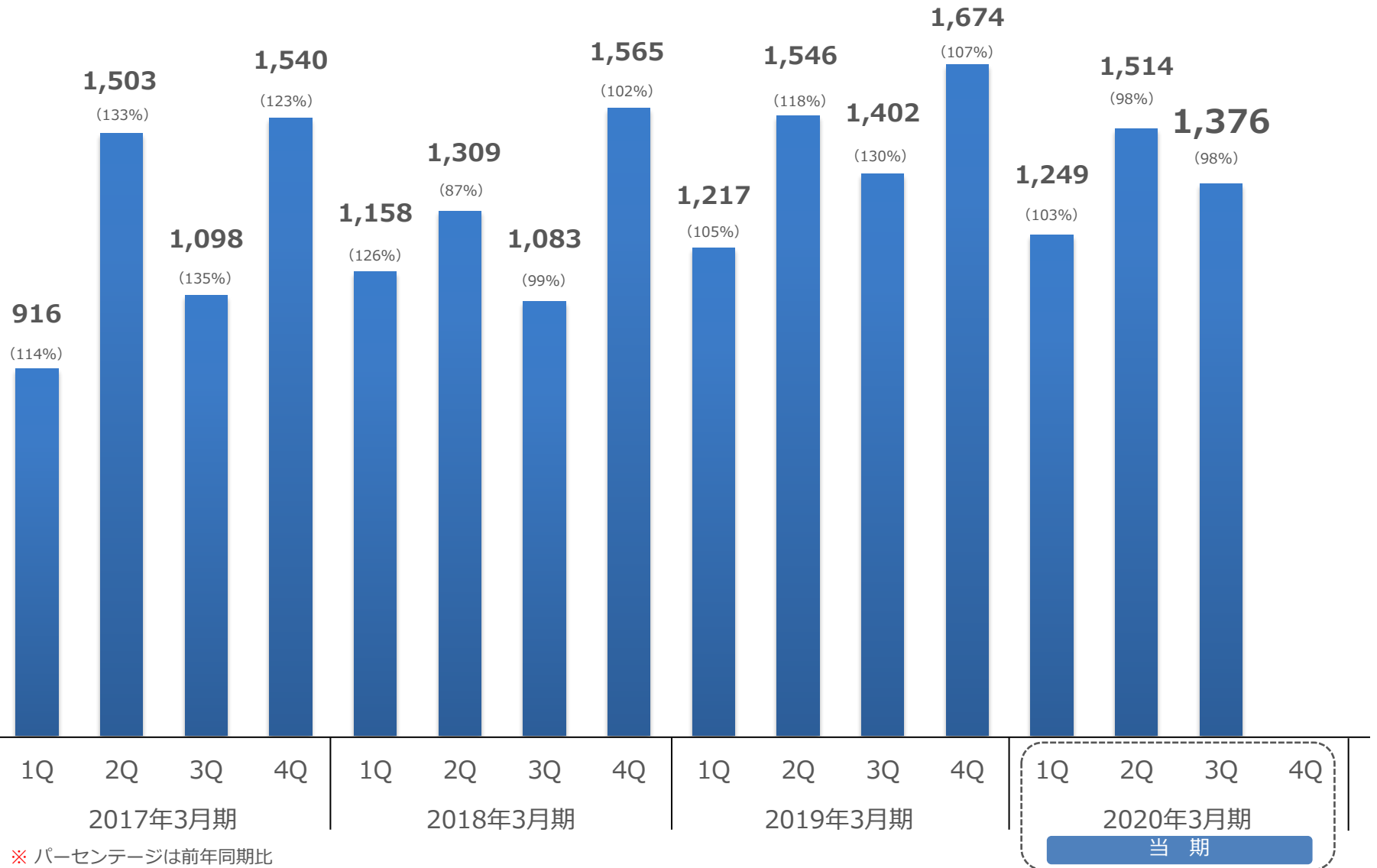
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

対前年同四半期比で横ばい

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

- クラウド製品等の新規開発完了に伴うソフトウェア償却費増
- コンサルタントの人員増による労務費増
- 前期の海外戦略見直しに伴うグループ再編により、経営資源の選択と集中効果により収益性が改善

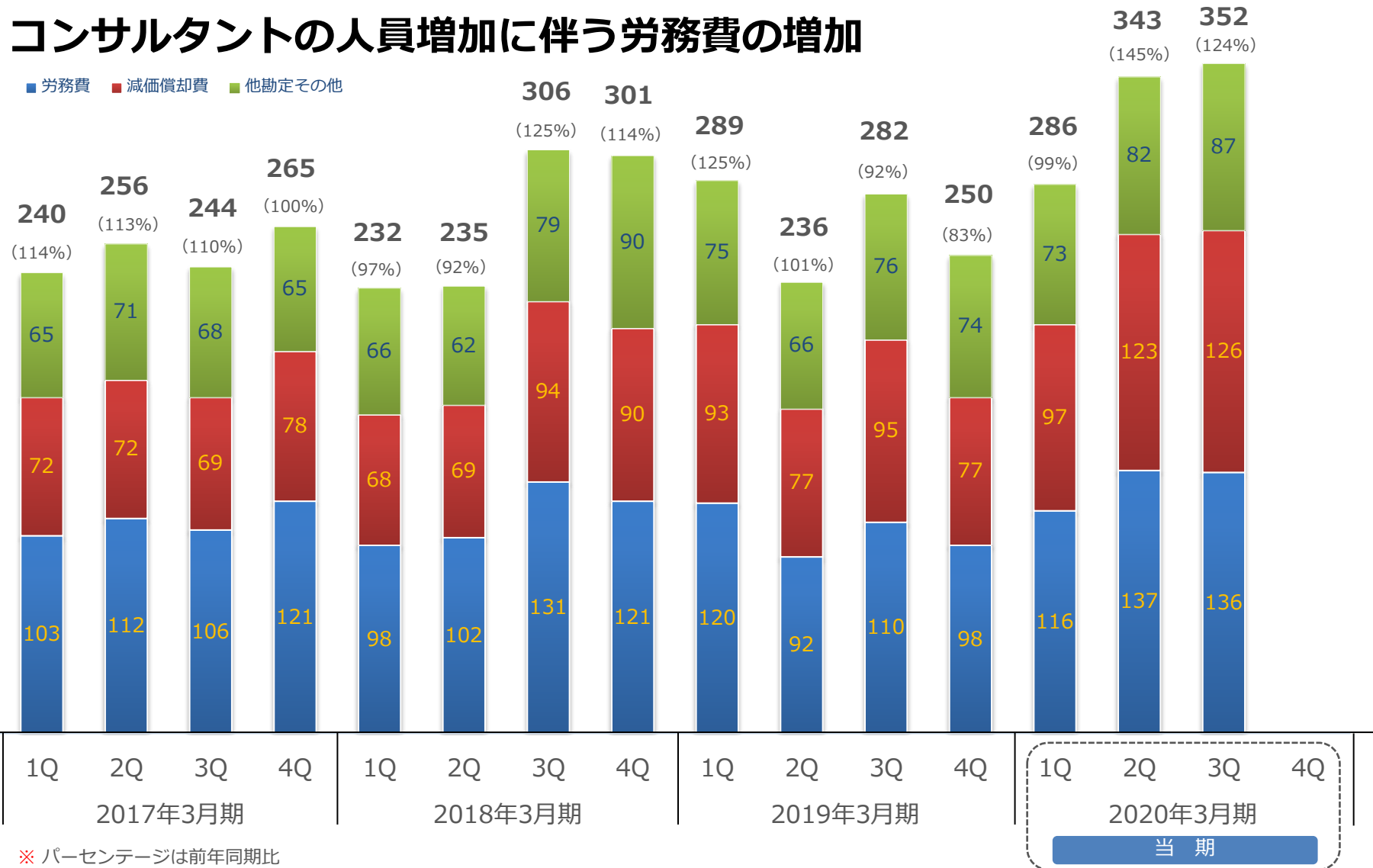
(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	809	984	+175	
労務費	323	391	+68	国内子会社（コンサルティング業務）の成長により増加
減価償却費	266	347	+81	クラウド製品等の新規開発完了に伴う増加
他勘定振替 その他製造原価	219	246	+27	
販売費及び一般管理費	1,683	1,508	△174	
人件費	791	774	△16	
広告宣伝費	232	164	△68	広告戦略の見直しによる減少
その他	659	569	△89	米国子会社の清算に伴い縮小

クラウド製品等の新規開発完了に伴う減価償却費の増加 コンサルタントの人員増加に伴う労務費の増加

(単位：百万円)

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

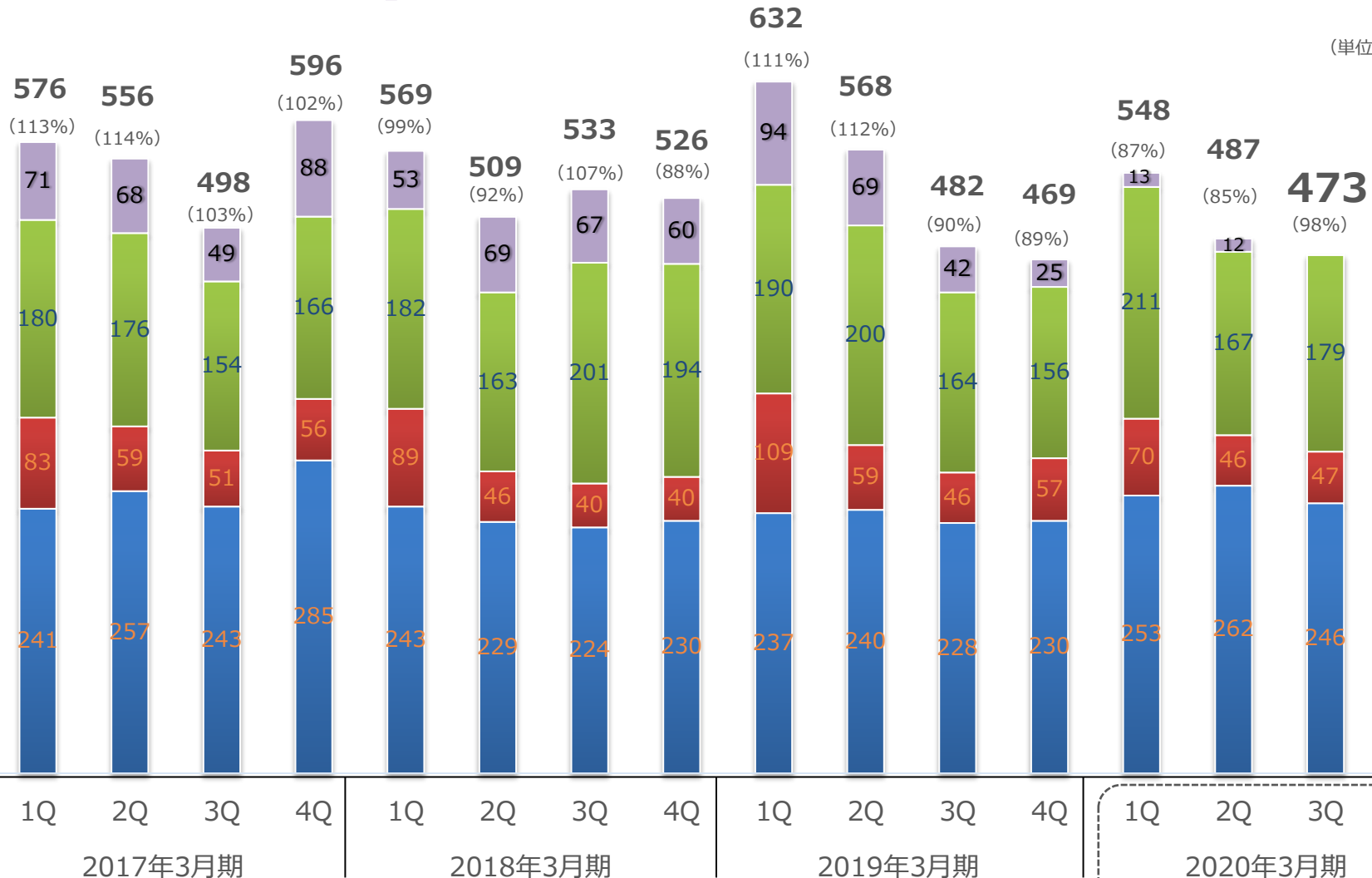


※ パーセンテージは前年同期比

国内費用は前年並みだが、海外費用が大幅に縮小

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 連結全体では僅かに減収
- 企業向け市場は、「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの好調により +8.2% の成長
- 公共向け市場は、前期の大型案件の反動減の影響で $\Delta 10.2\%$ の減収
- 家庭向け市場は、青少年のフィルタリング導入が進むも、キャリアへの提供価格の引き下げにより $\Delta 8.5\%$ の減収

連結売上高

売上高： **4,141** 百万円 (前期比 $\Delta 25$ 百万円 / $\Delta 0.6\%$)

企業向け市場

売上高： **2,309** 百万円 (前期比 +175百万円 / +8.2%)

公共向け市場

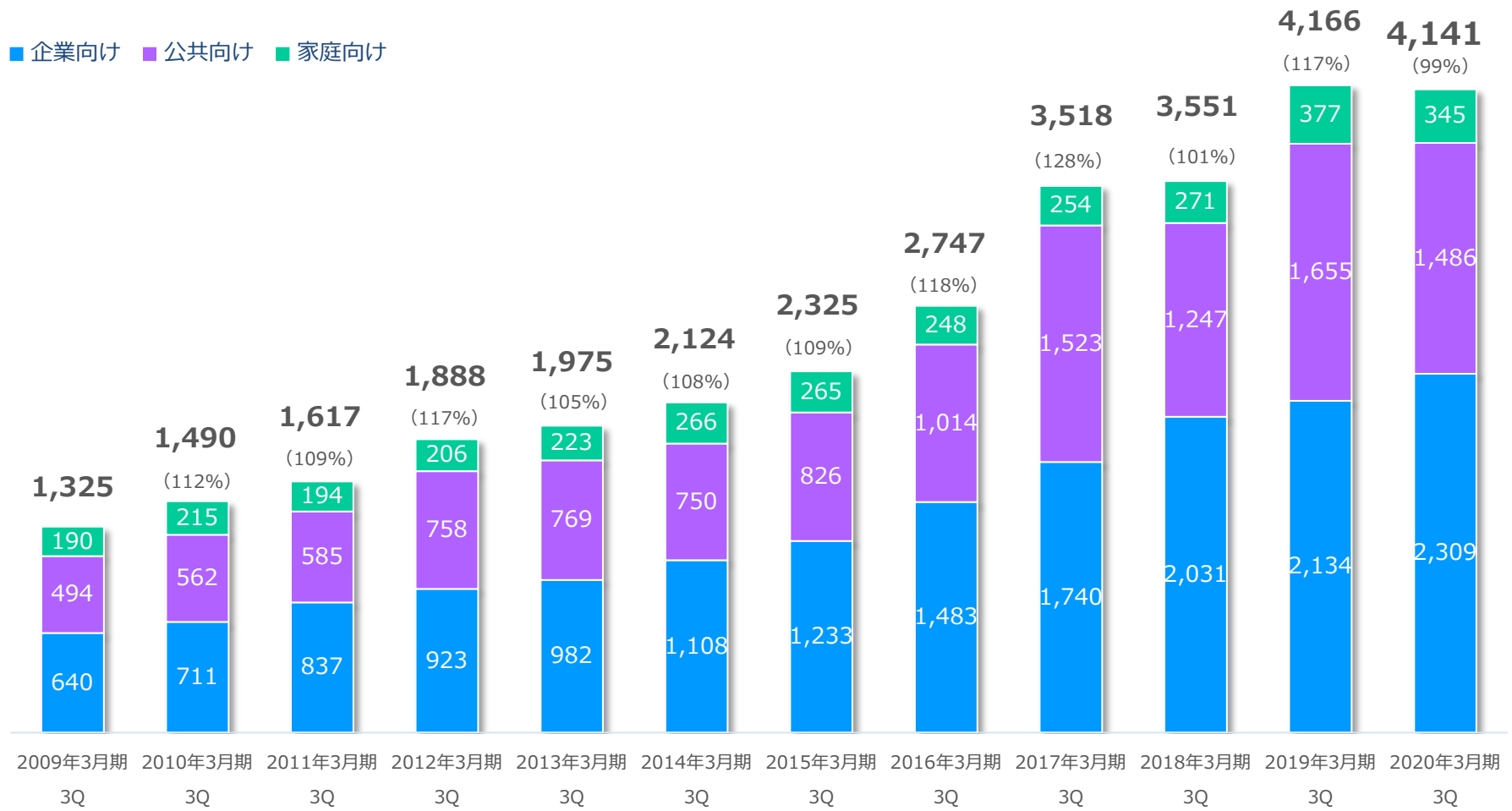
売上高： **1,486** 百万円 (前期比 $\Delta 168$ 百万円 / $\Delta 10.2\%$)

家庭向け市場

売上高： **345** 百万円 (前期比 $\Delta 32$ 百万円 / $\Delta 8.5\%$)

企業向けは「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの好調で成長
 公共向けは前期に獲得した大型案件の反動減の影響で減収

(単位：百万円)

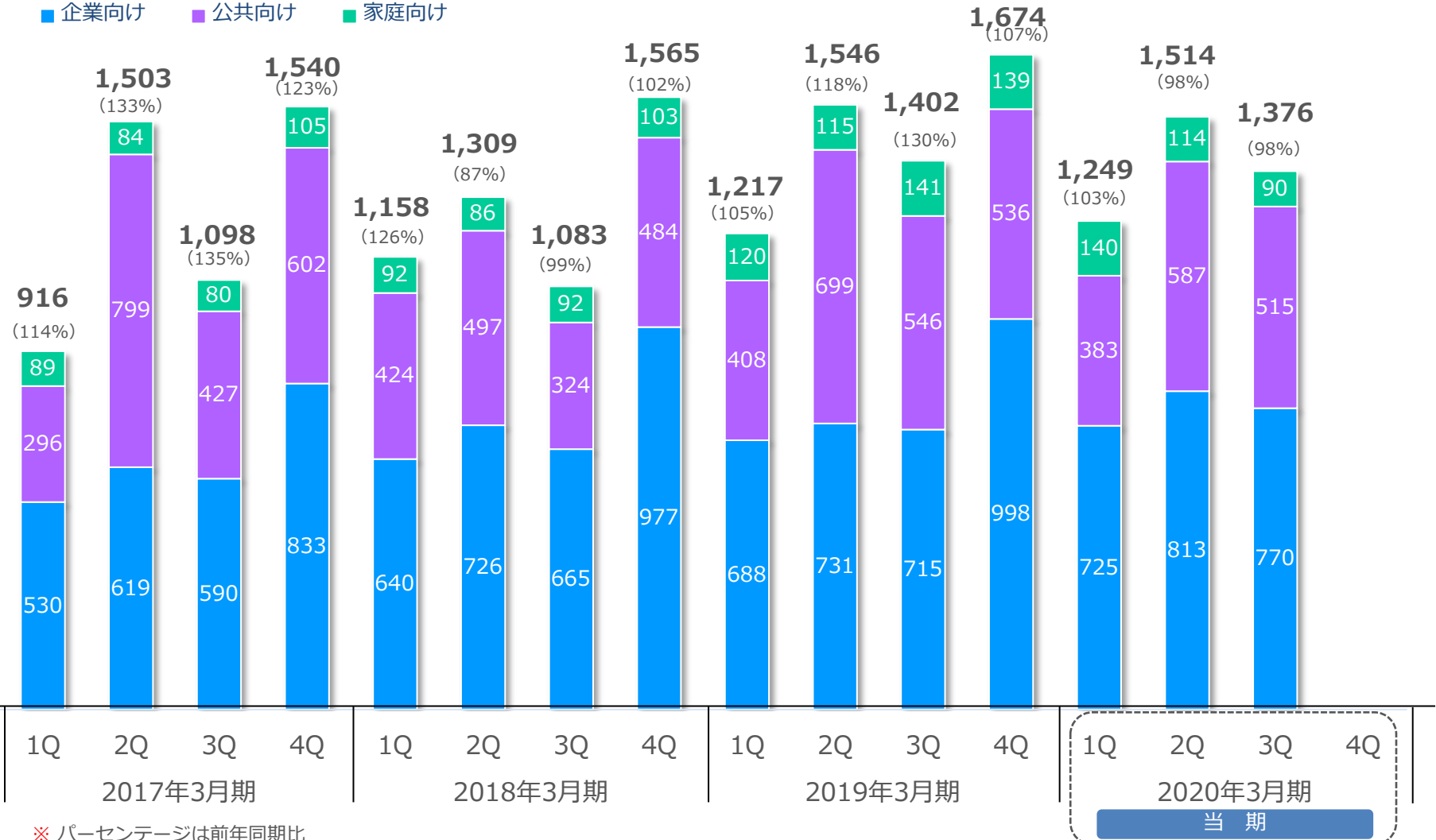


※ パーセンテージは前期比

企業向けは「i-FILTER」ブラウザ&クラウドの好調で成長

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比

2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外に持ち出し、業務を行うことが増加しており、場所・場面を問わずWebアクセス制御が可能となる「i-FILTER」ブラウザー＆クラウドの売上が引き続き拡大
- 「m-FILTER」は前期獲得の大型案件の反動減により減収

i-FILTER
Series

前年同期比 **113.1** %



m-FILTER
Series

前年同期比 **88.6** %



FINALCODE 前年同期比 **112.1** %



2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 前期の売上を牽引した金額的規模が大きい受注案件の反動減により、公共向け市場全体としては減収
- ICT化により教育現場は変革期を迎え、1人あるいは少人数の生徒が1台のタブレットを活用できる環境整備が進んでおり、「i-FILTER」ブラウザ & クラウドの売上が拡大

i-FILTER
Series

前年同期比

89.4 %



m-FILTER
Series

前年同期比

89.0 %



FINALCODE

前年同期比

109.7 %



2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 拡大する未成年者のスマートフォン利用に対して、青少年のインターネット利用に関する法律が厳格化され、フィルタリング利用が増加している一方で、キャリアによるエンドユーザーに対するサービス無償化に伴うキャリアへの提供価格の引き下げにより減収
- 複数年パッケージ製品や複数の端末で利用可能な「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が低調に推移

モバイル版
その他

前年同期比 **85.9 %**

パソコン版

前年同期比 **99.4 %**

2020年3月期 第3四半期決算補足説明資料

2020年3月期 通期業績予想

連結業績予想の修正について

(単位：百万円)

項目	2020年3月期修正前計画	2020年3月期修正後計画	増減額
売上高	6,800	5,500	△1,300
売上総利益	5,450	4,100	△1,350
販売管理費	2,150	2,050	△100
営業利益	3,300	2,050	△1,250
経常利益	3,300	2,050	△1,250
親会社株主に帰属する当期純利益	2,277	1,430	△847
1株当たり配当金	50.00 円	50.00 円	—

※当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

個別業績予想の修正について

(単位：百万円)

項目	2020年3月期修正前計画	2020年3月期修正後計画	増減額
売上高	6,600	5,200	△1,400
売上総利益	5,400	4,050	△1,350
販売管理費	2,100	1,950	△150
営業利益	3,300	2,100	△1,200
経常利益	3,300	2,100	△1,200
当期純利益	2,290	1,450	△840

※当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

通期業績予想の修正の理由

当社グループは、トータルセキュリティソリューションメーカーを目指し、まずは国内市場にて新しい発想、既存製品ラインアップの統合による、より高品質な製品展開を進めてまいりました。

当社は従来より内部情報漏洩型のセキュリティ対策の領域では高い認知とシェアを獲得してまいりましたが、当社グループ、販売代理店一体となった販促活動を推進した結果、当社グループが提供する新しい世界観、ソリューションについての評価が高まり、国内においては総合セキュリティ対策メーカーとしての存在感が高まっております。

しかし、当期は2020年1月にWindows7のサポート期限が到来することにより、パソコン切替の需要が著しく増加し、販売代理店がパソコンの販売に注力している状況が当初の想定以上に続いております。さらに、児童生徒向けの1人1台の学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想（GIGAスクール構想）において、2019年12月に閣議決定された補正予算案が盛り込まれたことにより、公共向け市場において交渉中の案件の内容に見直しが行われております。

このような状況のなか、新規の大型案件の獲得が一定程度に収まり、既存の案件獲得に向けた交渉が長期化していることから、前回公表した予想を下回る見通しとなりましたので、売上高を下方修正いたしました。これに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益につきましても下方修正いたしました。

2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

項目	2019年3月期実績	2020年3月期修正後計画	成長率/増減率
売上高	5,841	5,500	△5.8 %
売上総利益	4,781	4,100	△14.3 %
販売管理費	2,152	2,050	△4.8 %
営業利益	2,629	2,050	△22.0 %
経常利益	2,630	2,050	△22.1 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,961	1,430	△27.1 %
1株当たり配当金	48.00 円	50.00 円	—

※当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

2020年3月期 個別業績予想

(単位：百万円)

項目	2019年3月期実績	2020年3月期修正後計画	成長率/増減率
売上高	5,752	5,200	△9.6 %
売上総利益	4,724	4,050	△14.3 %
販売管理費	1,949	1,950	+0.0 %
営業利益	2,774	2,100	△24.3 %
経常利益	2,777	2,100	△24.4 %
当期純利益	1,784	1,450	△18.8 %

※当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2020年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の48.9%

2020年3月期年間剰余金配当予想額は **1株当たり 50.00円**

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	中間	期末	合計	
2019年3月期	18.00	30.00	48.00	34.0%
2020年3月期	25.00			
2020年3月期（予想）		25.00	50.00	48.9%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、Active Rating System、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、White Web、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Chat@Cloud、Dアラート、Dコンテンツ、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-